

ていしゆつ いけんとうおよ たい し かんが かつ
提出された意見等及びそれに対する市の考え方 (ふりがな付き)

【こどもパブリックコメント】

あんけんめい みやこのじょうし けいかく あん
案件名：都城市こども計画 (案)

ぼしゅうきかん れいわ ねん がつ にち れいわ ねん がつ にち
募集期間：令和6年12月2日から令和7年1月6日

いけんとうていしゆつけんすう けん
意見等提出件数：208件

こうもく 項目	いけんとう ないよう 意見等の内容	けんすう 件数	し かんが かつ 市の考え方
やっていくこと1 こどもの・若者 の健やかな 成長 (こども向け 説明資料 P4) (こども計画 P65～P68)	○「こどもが意見を言える機会をつくり」ではなく、「こどもの意見を尊重し」に変えた方が良 いと思う。	1	し わかもの 市がこども・若者のみなさんのための じぎょう けいかく 事業や計画を進めるときには、みなさん かんが いけん さんちよう の考えや意見を尊重していきたいと かんが 考えています。そのためには、まず、 みなさんがどのようなことを考えた ひつよう り、必要としているのか、みなさんの いけん き たいせつ 意見を聞くことが大切になります。おと かなが なだけで考えるのではなく、みなさん じぶん いけん の が自分の意見を述べるができる場 きかい つく いけん い や機会を作り、その意見を生かしてい かなが たいと 考えています。
	がっこう こうそく ○学校の校則について	2	こうそく ひつよう ごうりてき はんい 校則は、必要かつ合理的な範囲内で

	<p>いけん の 意見を述べたい。</p>		<p>せいてい 制定しています。</p> <p>かくがっこう じどうせいと また、各学校において、児童生徒や</p> <p>ほごしゃなど なん かたち さんか 保護者等が何らかの形で参加しながら、校則の見直しを行っているところ です。</p> <p>きょういくいいんかい しゃかいつうねん しゃかい 教育委員会としては、社会通念や社会</p> <p>かんきょう へんか じどうせいと そうい ともな 環境の変化、児童生徒の総意に伴っ</p> <p>た こうそく みなお けいぞく て、絶えず校則を見直すよう、継続して</p> <p>はたら 働きかけていきます。</p>
	<p>うんどう あそ しせつ ○運動して遊べる施設、</p> <p>べんきょう ぼしよ 勉強できる場所など、こ</p> <p>あそ ぼ いぼしよ どもの遊び場・居場所を</p> <p>ふ 増やしてほしい。</p>	9	<p>わかもの しあわ かん 子ども・若者のみなさんが幸せを感じ</p> <p>すこ せいちょう あそ ながら健やかに成長できるように、遊</p> <p>べんきょう たいけん こうりゅう あそ びや勉強、体験・交流などができる遊</p> <p>ぼ いぼしよ すす び場や居場所づくりを進めていきます。</p> <p>そして、みなさんが安全で楽しく、</p> <p>じゅうじつ じかん す しせつ 充実した時間が過ごせるように施設や</p> <p>びひん せいび おこな 備品の整備を行っています。</p>
	<p>じどうかん ○児童館のおもちゃやイ</p> <p>ふ じどうかん ベントを増やし、児童館</p> <p>せつび じゅうじつ の設備をもっと充実さ</p> <p>せてほしい。</p>	3	<p>じどうかん よろこ 児童館では、子どもたちが喜ぶおもち</p> <p>たの ぎょうじ ようい やや楽しい行事を用意しています。これ</p> <p>からは、みなさんの意見を取り入れなが</p>

			<p>ら、さらに楽しい^{たの}児童館^{じどうかん}にするために、</p> <p>あたら^{あたら}新しいアイデア^{かんが}を考^{かんが}えていきます。</p>
	<p>○公園^{こうえん}の遊具^{ゆうぐ}を増^ふやし、</p> <p>整備^{せいび}もしっか^{おこな}り行^{おこな}って</p> <p>ほしい。</p>	6	<p>公園^{こうえん}は、こどもからお年寄^{としよ}りまで、だれ</p> <p>でも自由^{じゆう}に体^{からだ}を動^{うご}かしたり、休憩^{きゅうけい}し</p> <p>たりする場所^{ばしょ}です。</p> <p>公園^{こうえん}には遊具^{ゆうぐ}のほかにも広場^{ひろば}やトイレ、</p> <p>休憩^{きゅうけい}できるベンチ^{ベンチ}などがあります。</p> <p>特^{とく}に遊具^{ゆうぐ}は、みなさんにずつと長^{なが}く遊^{あそ}ん</p> <p>でもらえるように、安全^{あんぜん}点検^{てんけん}をしなが</p> <p>ら、古^{ふる}くなつた遊具^{ゆうぐ}を修理^{しゅうり}をしたり、</p> <p>あたら^{あたら}新しいもの^{こうかん}に交換^{たいせつ}したりして、大切^{たいせつ}に</p> <p>使用^{しよう}してきました。</p> <p>現在^{げんざい}ある公園^{こうえん}が充^{じゅう}実^{じつ}した遊^{あそ}び場^ばにな</p> <p>るようにしたいと考^{かんが}えています。</p> <p>そして、だれでも楽^{たの}しく安全^{あんぜん}に公園^{こうえん}で</p> <p>過^すごせるように、遊具^{ゆうぐ}などの公園^{こうえん}施設^{しせつ}の</p> <p>管理^{かんり}や整備^{せいび}を行^{おこな}っていきます。</p>
	<p>○家族^{かぞく}以外^{いがい}に相談^{そうだん}できる</p> <p>人^{ひと}は思^{おも}い浮^うかばないし、</p>	17	<p>みなさんが困^{こま}ったり、迷^{まよ}ったりしたとき</p> <p>に、一人^{ひとり}で抱^{かか}え込^こむことがないよう、</p>

	<p>なかなか相談に踏み切れ ない人もいると思う。</p> <p>○プライバシーが守られ て、安心して相談できる 場所があると良いと思 う。自分の意見や考えを 伝えるアンケートを行 ったり、相談ボックスを 設置したりすると意見が 出やすく、相談もしやす いと思う。</p>		<p>気軽に安心して相談ができる窓口を 広くお知らせしていきます。県や市をは じめ、いろいろな機関が、それぞれの得意 分野を生かしてみなさんの悩みや困り ごとを解決できるように協力してい きます。また、今後もアンケートなどで みなさんの意見や困りごとなどを聞い て解決できる方法を考えていきます。</p>
<p>やっっていくこ と2</p> <p>困難な環境 にあるこど も・若者への 支援 (こどもむけ 説明資料P5) (こども計画 P69～P76)</p>	<p>○給食費を無償化した り、誰でも病院に行ける ようにしてほしい。</p>	<p>6</p>	<p>みやこのじょうし げんざい せいと 都城市では、現在、すべての生徒・ じどう きゆうしょくひ むりょう 児童のみなさんの給食費を無料にす ることは考えていませんが、経済的 りゆう えんじょ ひつよう せたい 理由などで援助が必要な世帯につい ては、きゆうしょくひ しきゆう せいど 給食費を支給する制度がありま す。また、こ いるりょうひじよせいせいど 子ども医療費助成制度という、 しない ちゅうがくせい いるりょうひ 市内の中学生までのこどもの医療費が むりょう し く さい 無料という仕組みがあります。15歳まで</p>

			<p>のこどもであれば誰でも、病院で支払 う保険診療内の医療費が無料になっ ています。</p>
	<p>さんかひむりょう べんきょうかい ○参加費無料の勉強会</p> <p>ひら とき を開いたり、その時にあ わせてカウンセリング （相談）を受けれるよう にしたら良いと思う。</p>	1	<p>しない ちく しょ ちいき ひと あつ 市内15地区27か所で、地域の人が集 まってボランティアで児童生徒のみな さんに勉強や生活習慣を身につける お手伝いをしています。そのほとんどが 参加費無料です。そこではカウンセリン グは行っていませんが、市では、みな さんが困ったり、迷ったりしたときに、 安心して相談ができる窓口を広くお知 らせしていきます。</p>
	<p>ふとうこう ひと たい ○（不登校の人に対し） リモートやインターネット を使ったオンラインの 授業をする。</p> <p>○いじめがあったと聞く ときがあるからもっとい じめの対策をしたほうが いいと思う。</p> <p>○ニュースでも宮崎県は</p>	20	<p>ふとうこう はや き 不登校やいじめについては、早く気づい て、その人の気持ちに寄り添って対応し ていく必要があります。そこで、学校に は、スクールカウンセラーやスクールソ ーシャルワーカーといった相談の 専門家がいて、学校のことだけでなく、 学校以外のことも何でも相談すること ができます。また、学校に来れない人の</p>

	<p>ふとうこう ひと ふ 不登校の人が増えている</p> <p>とよく 聞き がっこう こ とよく聞く。学校に来れ</p> <p>ていない ひと 人がたくさんい</p> <p>る。</p>		<p>ためには、オンライン 授 業 が受けられ</p> <p>るように 準備 したり、学校 以外 の 学 び</p> <p>の 場 を 増 や したり して いく たい と 考 え</p> <p>て います。</p> <p>今 後 も、本 人 が 一 人 で 悩 み を 抱 え 込 ま な</p> <p>い よう に、安 心 して 相 談 でき る 人 や</p> <p>場 所、学 び の 場 を 増 や す 方 法 を 考 え て</p> <p>い きます。</p>
	<p>○ 障 が い や 持 病 が あ る</p> <p>こ と、外 国 に ル ー ツ が あ</p> <p>る こと、SOGI (性的</p> <p>指 向 や 性 自 認) の こと な</p> <p>ど、他 の 人 と 違 う こと に</p> <p>対 す る 周 り の 人 の 理 解 や</p> <p>必 要 に 応 じ た 配 慮 が</p> <p>大 事 だ と 思 う。</p>	<p>4</p>	<p>本 市 で は、様 々 な 生 き づ ら さ を 抱 え た 方</p> <p>を 含 め、す べ て の 人 が お 互 い を 尊 重 し</p> <p>多 様 な 生 き 方 を 認 め 合 う こ と が でき る</p> <p>社 会 づ く り を 目 指 し 施 策 に 取 り 組 ん で</p> <p>い ます。そ の 中 で、男 女 共 同 参 画 社 会</p> <p>の 実 現 と 人 権 尊 重 の 意 識 を 深 く 根 付</p> <p>か せ る た め の、出 前 講 座 や 人 権 啓 発</p> <p>講 演 会 の 開 催、広 報 誌 や 市 ホ ー ム ペ ー</p> <p>ジ に よ る 広 報 ・ 啓 発 活 動 を 積 極 的 に</p> <p>行 っ て います。</p> <p>ま た、言 葉 の 壁 や 文 化 ・ 習 慣 の 違 い、</p> <p>偏 見 ・ 誤 解 な ど に 直 面 し て いる 外 国 人</p>

			<p>しみん し など 市民のために、市ホームページ等の</p> <p>たげんご にほんごか にほんご 多言語・やさしい日本語化や、日本語</p> <p>がくしゅうしえん せいかつあんぜんこうりゅうかいじっしとう 学習支援、生活安全交流会実施等、</p> <p>がいこくじんしみん ほんし 外国人市民が本市でよりいきいきと</p> <p>あんぜん あんしん く たぶんか 安全・安心に暮らせるような多文化</p> <p>きょうせいじぎょう と く 共生事業に取り組んでいます。</p>
<p>やっっていくこと3</p> <p>ちいき 地域における</p> <p>わかもの 子ども・若者、</p> <p>こそだ かにい 子育て家庭へ</p> <p>しえん の支援</p> <p>(子ども向け</p> <p>せつめい しりょう 説明資料 P5)</p> <p>(子ども計画</p> <p>P77～P79)</p>	<p>がいとう ふ ○街灯をもっと増やした</p> <p>ほう ぶかつ おそ 方がいい。部活などで遅</p> <p>くると暗くて危険な時</p> <p>があります。</p>	<p>8</p>	<p>がいとう やかん ほんざい じ こ きけん 街灯は、夜間の犯罪や事故などの危険を</p> <p>ぼうし じゅうよう 防止するためにとっても重要なもので</p> <p>なか ぼうはんとう い がいとう す。中でも、防犯灯と言われる街灯は、</p> <p>それぞれの地域の自治公民館等が</p> <p>じゅうみん いけん き せっち 住民の意見を聞きながら設置してお</p> <p>とりつけ かんり し ほじょきん り、その取付や管理には市の補助金が</p> <p>かつよう ちいき あんぜん じぶん 活用されています。地域の安全は自分た</p> <p>つく だ じゅうみん ちで創り出そうという住民ひとりひと</p> <p>ぼうはんいしき たか ちいき ちから りの防犯意識の高まりが、地域の力で</p> <p>せっち ぼうはんとう はんえい 設置される防犯灯に反映されていま</p> <p>す。</p>
	<p>あんぜん つうがく ○子どもが安全に通学</p> <p>どうろ ほどう できるように道路や歩道</p>	<p>8</p>	<p>あんぜん つうがく 子どもたちが安全に通学できるように、</p> <p>まいとし がっこう せんせい ちいき かた けいさつ し 毎年、学校の先生、地域の方、警察、市</p>

	<p>をしっかりと整備してほ しい。</p>		<p>やくしよ きょうりよく ていきてき つうがくる 役所が協力して、定期的に通学路の てんけん おこな あぶ ぼしよ てなお 点検を行い、危ない場所の手直しを おこな 行っています。これからも、こどもた ちが安全に通学できるように、道路や あんぜん つうがく どうろ ちが安全に通学できるように、道路や ほどう せいび すす 歩道の整備を進めます。</p>
	<p>○関わりを深めるために ボランティアで掃除をし たり、公民館の集まりに 参加すればいいと思う。</p>	2	<p>す たが たす 住みよいまちであるために、お互いに助 あ きょうりよく たいせつ け合い、協力することはとても大切 なことです。地域での自治公民館活動 ちいき じ ちこうみんかんかつどう やボランティア活動に参加する人が増 えれば、地域のいろいろな課題を自分の こととして考え、解決に向けて取り組 む気持ちが生れます。地域によっては 「子どもまち協」での取組も行っ ており、こどもたちに生まれ育ったまちの ちいき たずさ 地域づくりに携わることによって、 ちいきあい はぐく とりくみ おこな 地域愛を育む取組を行っています。</p>
<p>やっていくこ と4 こ ども の</p>	<p>○子育てをする世帯に今 よりももっと手厚いサポ</p>	11	<p>にんしん しゅつさん ご いくじ 妊娠、出産、その後の育児については、 き しえん じっし 切れ目のない支援を実施しています。</p>

<p>たんじょうまえ 誕生 前 から</p> <p>ようじき しえん 幼児期の支援</p> <p>(こども向け)</p>	<p>ほう ートをした方がいい。</p>	<p>こんご しえん だれ 今後もニーズにあった支援につなげ、誰</p> <p>あんしん こそだ もが安心して子育てできるような</p> <p>かんきょう 環境づくりをしていきます。</p>
<p>せつめい しりょう 説明資料 P6)</p> <p>(こども計画 P80～P84)</p>	<p>4</p> <p>ははおや そうだん ○ 母親が相談できる</p> <p>ぼしょ つく ほう 場所を作った方がいい。</p> <p>かか きかい おお こどもと関わる機会の多</p> <p>ほいくえん ようちえん そうだん い保育園や幼稚園に相談 できるといい。</p>	<p>みやこのじょうしほけん ぼ しほけん 都 城市保健センターでは、「母子保健</p> <p>コーディネーター」が妊娠から出産、</p> <p>こそだ はぼひろ しえん 子育てまで幅広い支援をしていて、</p> <p>みやこのじょうしこそだ せだいかつどうしえん 都 城市子育て世代活動支援センター</p> <p>ふれびかでは、「子育てコンシェルジュ」</p> <p>こそだ かん じょうほうていきょう そうだん が、子育てに関する情報提供や相談</p> <p>おこな しな を行っています。このほかにも市内に</p> <p>ほけん こそだ しえん は保健センターや子育て支援センター</p> <p>ふくすう そうだんぎょうむ おこな が複数あって、相談業務を行っています</p> <p>かくにゅうようじけんしん かくかてい す。また、各乳幼児健診や各家庭への</p> <p>ほうもん ほけんしとう そうだん 訪問などにおいても、保健師等が相談</p> <p>おこな を行っています。</p> <p>ほいくしよ ちいき ようぼう おう 保育所などにおいては、地域の要望に応</p> <p>いくじ かん そうだん こそだ しえん じて育児に関する相談や子育て支援</p> <p>かつどうとう とりく おこな ひつよう 活動等の取組みを行うことが必要と</p> <p>しな なっています。市内の保育所などにおい</p>

			<p>でも、ほとんどの施設<small>しせつ おこな</small>が行っており、 <small>みぢか そうだん かんきょう すす</small> 身近で相談できる環境づくりを進めています。</p>
	<p><small>あか かあ</small> ○赤ちゃんやお母さんが <small>やす ぼしよ</small> 休める場所があるとい い。</p>	2	<p><small>しゅっさんご しんしん きゅうげき へんか な</small> 出産後は、心身の急激な変化に慣れ <small>いくじ かさ かあ ところ</small> ない育児も重なり、お母さんの心と <small>からだ ふあんてい じき しゅっさんご</small> 体は不安定な時期です。出産後におけ <small>かあ からだ かいふく ところ あんてい</small> るお母さんの体の回復と心の安定を <small>はか びょういん じょさんいん ひがえ</small> 図るために、病院や助産院などに日帰 <small>しゅくはく じょさんし じたく</small> りまたは宿泊したり、助産師が自宅に <small>ほうもん かあ からだ あか</small> 訪問して、お母さんの体のケアや赤 <small>せわ しどう</small> ちゃんのお世話の指導をするサービスが あります。</p>
	<p><small>にんしん ひと せわ</small> ○妊娠した人のお世話や サポートをしてあげると いい。</p>	1	<p><small>しゅっさんご いくじ ふあん かあ</small> 出産後に育児の不安があるお母さんや <small>しんしん ひつよう かあ たいしょう</small> 心身のケアが必要なお母さんを対象 <small>あんしん こそだ じょさんし</small> に、安心して子育てできるように助産師 <small>さんご じっし</small> などのサポートによる産後ケアを実施 <small>か じ いくじ ふあん</small> しています。また、家事・育児に不安が <small>にんさんぶおよ こそだ せたい たいしょう</small> ある妊産婦及び子育て世帯を対象に <small>こそだ せたいほうもんしえんじぎょう じっし</small> 子育て世帯訪問支援事業を実施してい ます。</p>

	<p>りこん あと ひとり ○離婚した後に、一人で</p> <p>こそだ ひと 子育てしている人のサポ ートをしてほしい。</p>	2	<p>おやせたい じりつ あんしん こそだ ひとり親世帯が自立して安心して子育て</p> <p>しゅうろうしえん じどう てできるよう、就労支援のほか、児童</p> <p>ふようてあて ぼしおよ ふしかていりょうひ 扶養手当や母子及び父子家庭医療費の</p> <p>じよせい けいざいてきしえん びょうき 助成などの経済的支援、病気などで</p> <p>いちじてき にちじょうせいかつ す むずか 一時的に日常生活を過ごすのが難し</p> <p>とき かじ こそだ せわ い時に、家事や子育てのお世話をす</p> <p>せいかつしえん おこな 生活支援を行っています。</p>
	<p>いじゅう ひと ○移住してくる人もいる</p> <p>ほいくじょ ようちえん ので、保育所や幼稚園を</p> <p>ふ ひろ 増やしたり、広くしたり</p> <p>う い して、受け入れられる</p> <p>にんずう ふ 人数を増やしたらどう</p> <p>か。</p> <p>しごとば ちか ○仕事場から近いところ</p> <p>ほいくじょ に保育所があればいい。</p> <p>ほいくじょ なか がくどう ○保育所の中に学童があ</p> <p>きょうだい いっしょ れば、兄弟で一緒に</p> <p>ほごしや かえ 保護者と帰れるからい</p> <p>い。</p>	6	<p>しょうらい にんずう にゅうしょじょうきょう 将来のこどもの人数や入所状況</p> <p>み けいかくてき う い を見ながら、計画的に受け入れられる</p> <p>にんずう かくほ う い 人数を確保していきます。また、受け入</p> <p>にんずう ふ あら しせつ れる人数を増やすために新たに施設を</p> <p>つく つく なお ぼあい しえん 作ったり、作り直したりする場合は支援</p> <p>していきます。</p>
	<p>ほいくえん ようちえん せんせい ○保育園や幼稚園の先生</p>	2	<p>しない はたら ほいくしどう かくほ 市内で働く保育士等を確保するため</p>

	<p>ふ とりくみ ほう を増やす取組をした方が いい。</p>		<p>あら ほいくえんとう しゅうしょく ひと に、新たに保育園等に就職する人に しえんきん じよせい ほいくし か 支援金を助成したり、保育士の代わりに そうじ ぎょうじ じゅんび てつだ 掃除や行事の準備などをお手伝いする ほう はいち ほんらい ほいくぎょうむ 方を配置することで、本来の保育業務 せんねん とりくみ すす に専念してもらうなどの取組を進めて います。</p>
	<p>ほいくえん ようちえん ○ 保育園 や 幼稚園 の にゅうがくきん へ 入学金を減らしてほしい。 い。</p>	1	<p>にゅうがくきん と 入学金については、どこも取っ せん。にゅうがくじ ひょう 入學時にかかる費用については、 じっぴ かね せいふく たいそうふく 実費としてかかるお金(制服・体操服・ ぼうし たよ ちょうとう しせつ 帽子、お便り帳等)、その施設として とくべつ かね えいご たいそうきょうしつ 特別にかかるお金(英語や体操教室を おこな ひょうとう きんがく 行う費用等)があります。この金額に かくしせつ ひつよう ほんだん ついては、各施設で必要だと判断して ちようしゅう へ 徴収していますので、減らすことは むずか かんが 難しいと考えます。</p>
	<p>ほいくえん ようちえん てきせつ ○ 保育園や幼稚園が適切 ほいく きょういく に保育・教育されている げんば み か現場を見てほしい。</p>	1	<p>ほいくえん ほいくじょうきょう あんぜん 保育園などでの保育状況が安全・ てきせつ けん し 適切にされているか、県や市などの ぎょうせいきかん ていきてき かんさ 行政機関が定期的に監査しています。 ふてきせつ じれい つうほう さい また、不適切な事例が通報された際に</p>

			<p>しせつ たい き と ちょうき じっし は、施設に対して聞き取り調査を実施しています。</p>
<p>やっっていくこと5</p> <p>がくどうき ししゅんき 学童期・思春期</p> <p>しえん の支援</p>	<p>がくしゅう かんきょう せいび ○学習環境の整備や</p> <p>がっこうない せつび じゅうじつ 学校内の設備を充実させてほしい。</p>	17	<p>すこ せいちょう 子どもたちが健やかに成長できるよ</p> <p>ひ つづ がくしゅうかんきょう がっこうしせつ う、引き続き、学習環境、学校施設の</p> <p>せいび せつび じゅうじつ つと 整備や設備の充実に努めていきます。</p>
<p>む (子ども向け</p> <p>せつめい しりょう 説明資料 P6)</p> <p>けいかく (子ども計画</p> <p>P85～P88)</p>	<p>うんどう あそ しせつ ○運動して遊べる施設、</p> <p>べんきょう ぼしよ 勉強できる場所など、こ</p> <p>あそ ぼ いぼしよ どもの遊び場・居場所を</p> <p>ふ 増やしてほしい。また、</p> <p>じどうかん せつび じゅうじつ 児童館の設備充実も</p> <p>おこな 行ってほしい。</p>	25	<p>わかもの しあわ かん 子ども・若者のみなさんが幸せを感じ</p> <p>すこ せいちょう あそ ながら健やかに成長できるように、遊</p> <p>べんきょう たいけん こうりゅう あそ びや勉強、体験・交流などができる遊</p> <p>ぼ いぼしよ すす び場や居場所づくりを進めていきます。</p> <p>そして、みなさんが安全で楽しく、</p> <p>じゅうじつ じかん す しせつ 充実した時間が過ごせるように施設や</p> <p>びひん せいび おこな 備品の整備を行っていきます。</p>
	<p>こうえん ○スポーツができる公園</p> <p>ふ ゆうぐ を増やすことや遊具をも</p> <p>じゅうじつ っと充実させてほしい。</p>	7	<p>しない こうえん 市内には、たくさんの公園があります</p> <p>なか みやこのじょううんどうこうえん やまのくち が、その中の都城運動公園と山之口</p> <p>うんどうこうえん しせつ あたら 運動公園は、スポーツ施設を新しく</p> <p>せいび ひと 整備していて、これから、たくさんの人</p> <p>うんどう たの に運動やスポーツを楽しんでもらえる</p> <p>かんが と考えています。</p> <p>こうえん としよ また公園は、子どもからお年寄りまで、</p>

			<p>だれでも自由に体を動かしたり、 休憩したりする場所です。</p> <p>みんなが公園で運動をしたり、遊んだりして充実した時間を過ごせるように、遊具などの公園施設の管理や整備をおこなっていきます。</p>
	<p>○部活の時間が決められているので、増やしてほしい。</p>	1	<p>部活動の活動時間は、本市教育委員会 が定める部活動の在り方に関する方針 に則り、平日は2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度と定められています。したがって、それぞれの学校では、決められた時間の中で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うよう努めていただいています。</p>
	<p>○教員数の増加や教育環境をより良くするための取り組みなどはあるか。</p>	1	<p>教職員の配置につきましては、県の人事方針によって配置されます。市としては、学習や学校生活の支援をおこなう、特別支援教育支援員や日本語</p>

			<p>サポーターなどの支援員の配置を行っております。</p>
	<p>○市の陸上競技場のトラックを土からタータン（ゴム製）に替えてほしい。</p>	<p>1</p>	<p>現在、令和9年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、山之口運動公園に第1種陸上競技場、第3種陸上競技場が整備されています。どちらも全天候型トラック（タータン）の競技場となっています。第3種競技場については、都城運動公園陸上競技場に代わる本市のメイン陸上競技場として、市内の大会や練習での利活用を進めていきます。</p> <p>都城運動公園の陸上競技場については、現在、全天候型トラックの整備計画はありませんが、市民の方々や、部活動等での陸上競技利用が多くあるため、管理者によるトラックの転圧作業等の日常管理だけでなく、定期的な土の入れ替えやラインテープの張り</p>

			<p>なお など せいび じっし 直し等の整備も実施し、トラックコンデ ィションの保全を進めていきます。</p>
	<p>ふとうこう たち い ○不登校のこども達の居 ばしょづく 場所作りなどのサポート をしてほしい。</p>	3	<p>ふとうこう そうきかいけつ と く 不登校の早期解決に取り組むため、スク ールカウンセラーやスクールソーシャ ルワーカーなどと連携するとともに、ス プリング教室や青空ラボ、市立図書館 など、不登校の児童生徒の多様な学びの ば い ばしょ かくほ 場・居場所を確保していきます。</p>
	<p>がっこう とうこう ○学校へ登校できない こどもへの手助けはたし かに必要だけど、無理に 勉強や関わりを持たせ るより、自分がしたいこ とをするなど、そのこど もの意見も尊重するべ きだと思います。</p>	2	<p>ふとうこう しえん こま 不登校の支援については、それぞれの困 ごと なや ごと よ そ もくひょう り事や悩み事に寄り添いながら、目標 を設定することが大事だと考えていま す。学校への登校だけを目指とするの ではなく、不登校の児童生徒の意見も 尊重しながら目標を設定する教育 相談を実施するとともに、多様な学び方 を選択できるような居場所を確保して いきます。</p>
	<p>とう がいこくじん ○お父さんが外国人な ので私も外国人と言わ れる事があります。国際</p>	1	<p>みやこのじょう し す がいこくじん し 市民 みやこのじょう し おとず がいこくじんりょこうしゃ や都城市を訪れる外国人旅行者 む じょうほう ほっしん じんしゅ に向けた情報を発信しながら、人種や</p>

	<p>こうりゅう きかい ふ 交 流 の 機 会 を も っ と 増</p> <p>おな たち ば や した り、同 じ 立 場 の お</p> <p>ともだち はな きかい 友 達 と 話 した り す る 機 会</p> <p>が ある と い い。</p>		<p>こくせき こ し しみん こうりゅう つう 国 籍 を 超 え た 市 民 交 流 を 通 じ て</p> <p>こくさいか すいしん たぶんかきょうせい りかい 国 際 化 を 推 進 し、多 文 化 共 生 の 理 解 を</p> <p>そくしん みやこのじょう しこくさいこうりゅう 促 進 す る た め に、都 城 市 国 際 交 流</p> <p>セ ン タ ー を 設 置 し て い ま す。</p> <p>こくさいこうりゅう こんご しみん 国 際 交 流 セ ン タ ー で は、今 後 も 市 民 の</p> <p>こくさいこうりゅう きかい とう 国 際 交 流 の 機 会 を つ く り、イ ベ ン ト 等</p> <p>しゅうち すず の 周 知 を 進 め て い き ま す。</p>
<p>や っ て い く こ と 6</p> <p>せいねん き しえん 青 年 期 の 支 援</p> <p>(こども む 向 け せつめい しりょう 説 明 資 料 P7)</p> <p>(こども けいかく 計 画 P92～96)</p>	<p>こうこう だいがく ○ 高 校 や 大 学 な ど に 行</p> <p>ひよう しえん く た め の 費 用 を 支 援 し て</p> <p>だいがくひよう ちょきん ほ し い。大 学 費 用 を 貯 金</p> <p>で き る よ う に、そ れ ま で</p> <p>きゅう しょくひ いりょうひ の 給 食 費 や 医 療 費 を</p> <p>むりょう 無 料 に し て ほ し い。</p>	<p>5</p>	<p>もんぶかがくしょう こうとうがっこうなどしゅうがくしえん 文 部 科 学 省 は 「高 等 学 校 等 就 学 支 援</p> <p>きんせいど せいど こうこう 金 制 度」を 行 っ て お り、こ の 制 度 で 高 校</p> <p>じゅぎょうりょう じっしつむしょうか の 授 業 料 が 実 質 無 償 化 さ れ て い ま</p> <p>す。ま た、大 学 等 の 高 等 教 育 機 関 へ</p> <p>だいがくとう こうとうきょういくきかん 進 学 を 希 望 す る 場 合、公 益 財 団 法 人</p> <p>しんがく きぼう ぼ あい こうえきざいだんほうじん 都 城 育 英 会 の 貸 与 型 奨 学 金</p> <p>みやこのじょう みきた おうえんしょうがくきん 「都 城 三 股 み ら い 応 援 奨 学 金」が</p> <p>あり ま す。さ ら に「高 等 教 育 の 修 学</p> <p>しえんしんせいど しんがく きぼう かく 支 援 新 制 度」が あり、進 学 を 希 望 す る 学</p> <p>せい きゅうふがたしょうがくきん しきゅう じゅぎょうりょう 生 に 給 付 型 奨 学 金 の 支 給 と 授 業 料</p> <p>とうげんめん しえん せいど 等 減 免 の 支 援 を 行 う 制 度 も あり ま す。</p>

		<p> <small>こうこう だいがく まな がっこう</small> 高校や大学などで学びたいのに、学校 </p> <p> <small>い ひょう しはら むずか</small> へ行く費用を支払うことが難しくて </p> <p> <small>しんがく</small> 進学をあきらめることがないように、 </p> <p> <small>しょうがくきん しえん せいど しゅうち</small> 奨学金による支援や制度の周知をし </p> <p> ていきます。 </p> <p> <small>じどうてあて しきゅうようけん かいせい</small> また、児童手当の支給要件の改正によ </p> <p> <small>だいがくせい そだ かに いちぶ</small> っては、大学生を育てている家庭の一部 </p> <p> <small>こうこうせい せたい しきゅうがく ぞうがく</small> や高校生がいる世帯で、支給額の増額 </p> <p> <small>おこな きゅうしょくひ</small> が行われています。給食費について </p> <p> <small>げんざい じどう せいと</small> は、現在、すべての児童・生徒のみなさ </p> <p> <small>きゅうしょくひ むりょう かんが</small> んの給食費を無料にすることは考え </p> <p> <small>けいざいてきりゆう えんじょ</small> ていませんが、経済的理由などで援助 </p> <p> <small>ひつよう せたい きゅうしょくひ</small> が必要な世帯については、給食費を </p> <p> <small>しきゅう せいど こそだ</small> 支給する制度があります。さらに、子育て </p> <p> <small>おこな せたい たい</small> を行っている世帯に対して、病院に </p> <p> <small>いりょうひ ちゅうがくせいせだい</small> かかった時の医療費を中学生世代まで </p> <p> <small>むりょう ほいくえん ひよう</small> 無料にしたり、保育園などに行く費用を </p> <p> <small>むりょう ひようふたん けいげん はか</small> 無料にするなど、費用負担の軽減を図 </p> <p> <small>けいざいてき しえん おこな</small> ることで、経済的な支援を行っています。 </p>
--	--	--

	<p>こうこう だいがく しんがく ○高校や大学に進学するにあたって、在学や市外に進学した人の話が聞けるといい。</p>	2	<p>こうこう しんがく き さい かくちゅうがっこう 高校への進学を決める際に、各中学校で高校説明会が行われ、在校生が説明に来ることもあります。中学生が現役高校生のお話を直接聞ける機会を増やすなど、進路選択に役立つ情報提供を充実させていきます。</p>
	<p>し しんがく ひと ○市外に進学した人が都城市に帰ってきて就職するための支援があるといい。</p>	1	<p>みやこのじょうし わか ひと す つづ 都城市では、若い人たちが住み続けてくれるように、いくつかの助けをしています。</p> <p>1. お金の助け：大学などを卒業して都城市に住んで、市内で働く人には、学校で借りたお金（奨学金）を返すを手伝います。</p> <p>2. お仕事体験のサポート：都城市の会社でお仕事を体験したい人には、そこまでの交通費やホテル代を助けます。</p> <p>3. お仕事を探す手伝い：都城市や近くの町と協力して、仕事を探している人と会社が出会える場所を作りま</p>

		<p>す。</p> <p>4. Uターン、Iターン、Jターンの応援：^{おうえん}</p> <p>○Uターン：^{みやこのじょうし}都^{そだ}城^{ひと}市^{そと}で育った人が、外</p> <p>に出た後に戻ってくること</p> <p>○Iターン：^{ほか}他の場所から^{みやこのじょうし}都^{そだ}城^{ひと}市^{そと}に</p> <p>来て住むこと</p> <p>○Jターン：^{みやこのじょうし}都^{ちか}城^{まち}市の近くの町や市</p> <p>で育った人が、外に出た後で^{みやこのじょうし}都^{そだ}城^{ひと}市^{そと}</p> <p>に来て住むこと</p> <p>これらの助けで、若い人たちが^{みやこのじょう}都^{たす}城^{わか}市^{ひと}</p> <p>に住んで、働いてくれることを願っ^{ねが}</p> <p>ています。^{みやこのじょうし}都^{げんき}城^{たの}市^{たの}をもっと元気で楽</p> <p>しい町にするためです。</p>
	<p>○出会いの場まではいら</p> <p>ないと思う。</p> <p>○出会いの場を作るのは</p> <p>いいと思う。</p>	<p>2</p> <p>^{みやこのじょうし}都^{こんかつ}城^{おうえん}市^{おうえん}では、婚活を応援している</p> <p>団体と協力しながら、出会いの機会</p> <p>が少ない若者に対して、婚活イベント</p> <p>やセミナー実施による出会いの場</p> <p>(機会)を提供し、若者の婚活を応援</p> <p>しています。</p> <p>これからも、^{みやこのじょうし}都^{きょうりよく}城^{こん}市^{こん}と協力して婚</p>

		<p>かつ かいさい だんたい ふ 活イベントを開催してくれる団体を増</p> <p>やして、さまざま ないよう こんかつ 様々な内容の婚活イベントを</p> <p>かいさい かんが 開催していきたいと考えています</p>
<p>そうだん ぼ つく ○相談する場所を作るこ</p> <p>よ じっさい とは良いことだが、実際</p> <p>そうだん ゆうき に相談することは勇気が</p> <p>ひつよう りよう ひと 必要だから利用する人は</p> <p>おも 少ないと思う。</p>	1	<p>なや ふあん かか わかもほんにん ちよくせつ 悩みや不安を抱える若者本人が、直接</p> <p>で む そうだん むずか ぼ あい 出向いて相談することが難しい場合</p> <p>じたくほうもん そうだん かぞく は、自宅訪問による相談やその家族から</p> <p>そうだん う つ けん の相談も受け付けています。また、県の</p> <p>そうだん かん そうだん 相談機関ではオンラインによる相談を</p> <p>う かつよう 受けているため、活用していただけるよ</p> <p>しゅうち はか う周知を図っていきます。</p>
<p>みやこのじょう しない がっこう ○都 城 市内や学校の</p> <p>ちか そうだんしせつ 近くに相談施設をもっと</p> <p>つく 作ってほしい。</p>	1	<p>しない しゅうろう ふくし 市内には就 労や福祉などのそれぞれの</p> <p>せんもん そうだんまどぐち ほか かくちく ちく 専門の相談窓口の他に、各地区の地区</p> <p>しゃかいふくしきょうぎかい ふくし 社会福祉 協議会による福祉なんでも</p> <p>そうだん かいせつ みちか ぼしよ 相談を開設するなど、身近な場所でも</p> <p>そうだん う たいせい ととの 相談を受けられるような体制を整え</p> <p>ています。それらの窓口を活用してもら</p> <p>しゅうち はか うよう周知を図っていきます。</p>
<p>せいど ○パートナーシップ制度</p>	1	<p>せいど どうにゅう パートナーシップ制度の導入につきま</p>

	<p>どうにゅう ^{かんが} の導入について考 え てほしい。</p>		<p>せいてき ^{かた} しては、まずは性的マイノリティの方へ しみん ^{りかいそくしん} ^{はか} ^{せいどうにゅう} の市民の理解促進を図り、制度導入に み ^あ ^{どじょう} ^{じゅうよう} 見合う土壌をつくることが重要であ ^{かんが} ^{でまえ} ると考 えています。そのための出前 こうざ ^{こうえんかい} ^{じっし} ^{はっ} 講座や講演会の実施、センターだより発 こう ^{てん} ^{じっしなごうほう} ^{けいはつかつどう} 行、パネル展の実施等広報・啓発活動に ^と ^く 取り組んでいます。</p>
<p>やっっていくこ と7 こそだ ^き 子育て 期 の しえん 支援 (こども向け せつめい ^{しりょう} 説明 資料 P7) (こども計画 けいかく P92～P96)</p>	<p>3 びょうき ○こどもが病気をしたと ひよう ^{こうこうう} きにかかる費用を高校生 しえん まで支援してほしい。</p>	<p>3</p>	<p>みやこのじょうし ^こ ^{いりょうひじよせい} 都 城市での子どもの医療費助成は、 れいわ ^{ねん} ^{がつ} ^{ちゅうがくせいせだい} 令和5年4月から中学生世代までの いりょうひ ^{かんぜんむりよう} ^か ^{げんじてん} 医療費を完全無料化しています。現時点 では、^{こうこうせい} ^{かくじゅう} 高校生までの拡充を行うための ちょうさ ^{おこな} 調査は行 っていないませんが、ほかの市 ちょうそん ^さ ^{おお} 町村との差がなるべく大きくなる ように^{じょうほうしゅうしゅう} ^{おこな} 情報収集を行いながら、 いりょうひじよせい ^{かくじゅう} ^{みさだ} 医療費助成の拡充について見定めて ^{かんが} いきたいと考 えています。</p>
	<p>1 ほしかてい ^{ふしかてい} ○母子家庭や父子家庭の ひと ^く 人たちも暮らしやすいよ びょういんだい ^{ひよう} うに病院代などの費用</p>	<p>1</p>	<p>おやせたい ^{あんしん} ^{こそだ} ひとり親世帯が安心して子育てできる しゅうろうしえん ^{じどうふようてあて} ^{ほし} ように、就 労支援や児童扶養手当、母子 およ ^{ふしかてい} ^{いりょうひ} ^{じよせい} 及び父子家庭 医療費 の助成 などの</p>

	<p>しえん ほう の支援をした方がいい。</p>	<p>けいざいてきしえん びょうき いちじてき にちじょう 経済的支援、病気などで一時的に日常</p> <p>せいかつ す むづか とき かじ 生活を過ごすのが難しい時に、家事や</p> <p>こそだ しえん せいかつしえん おこな 子育ての支援をする生活支援を行って</p> <p>います。</p>
	<p>こうこう だいがく い ○高校や大学などに行</p> <p>くための費用を支援して</p> <p>ほしい。</p>	<p>4</p> <p>もんぶかがくしょう こうとうがっこうなどしゅうがくしえん 文部科学省は「高等学校等就学支援</p> <p>きんせいど おこな せいど 金制度」を行っており、この制度で</p> <p>こうこう じゅぎょうりょう じっしつむしょうか 高校の授業料が実質無償化されてい</p> <p>ます。また、だいがくとう こうとうきょういくきかん 大学等の高等教育機関へ</p> <p>しんがく きぼう ぼ あい こうえきざいだんほうじん 進学を希望する場合、公益財団法人</p> <p>みやこのじょう いくえいかい たいよがた しょうがく きん 都城育英会の貸与型奨学金</p> <p>みやこのじょうみまた おうえんしょうがくきん 「都城三股みらい応援奨学金」が</p> <p>あります。さらに「高等教育の修学</p> <p>しえんしんせいど しんがく きぼう がく 支援新制度」があり、進学を希望する学</p> <p>せい きゅうふがたしょうがくきん しきゅう じゅぎょうりょう 生に給付型奨学金の支給と授業料</p> <p>とうげんめん しえん おこな せいど 等減免の支援を行う制度もあります。</p> <p>こうこう だいがく まな がっこう 高校や大学などで学びたいのに、学校</p> <p>い ひょう しはら むづか へ行く費用を支払うことが難しくくて</p> <p>しんがく 進学をあきらめることがないように、</p> <p>しょうがくきん しえん せいど しゅうち 奨学金による支援や制度の周知をし</p> <p>ていきます。</p>

	<p>2</p> <p>○こどもが病気でお仕事 <small>びょうき しごと</small> を休んだ時に、その日の <small>やす とき ひ</small> 分の給料を払ってあ <small>ぶん きゅうりょう たら</small> げたり、病気のこどもが <small>びょうき</small> 行けるところを作ってほ <small>い つく</small> しい。</p>	<p>あか <small>そだ</small> <small>じ き</small> <small>びょうき</small> 赤ちゃんを育てる時期やこどもが病気 <small>とき しごと やす はたら</small> の時などに仕事を休めるよう、働きな <small>こそだ かんきょう つく</small> がら子育てしやすい環境を作るために <small>けいはつ</small> 啓発をしていきます。 <small>びょうき しごと</small> また、こどもが病気で仕事をどうしても <small>やす あず</small> 休めないときに、こどもを預けられる <small>しせつ ひつよう</small> 施設がありますので、必要なときに使う <small>しせつ かくほ おお</small> ことができるよう施設を確保したり、多 <small>ひと し と く</small> くの人に知ってもらおうよう取り組みま す。</p>
	<p>1</p> <p>○学校の先生は子育て <small>がっこう せんせい こそだ</small> しにくいし、会社員も <small>かいしゃいん</small> 家庭のことを言いつら <small>かてい い</small> しい。</p>	<p>しごと <small>こそだ りょうりつ</small> 仕事と子育てが両立できるように、お <small>かあ とう いくじ やす</small> 母さんだけでなくお父さんも育児で休 <small>かんきょう すす</small> みやすい環境づくりを進めるために、 <small>かんけい きかん けいはつ</small> 関係する機関と啓発していきます。</p>
	<p>1</p> <p>○公民館の業務負担を <small>こうみんかん ぎょうむ ふたん</small> もっと軽くしてほしい。 <small>かる</small></p>	<p>ちいき <small>しごと ちいき じゅうみん かた</small> 地域の仕事は、地域の住民の方と <small>ぎょうせい きょうりよく かいけつ</small> 行政で協力しないと解決できない <small>おお ぎょうせい かいけつ</small> ことが多くあり、行政のみでは解決す <small>むずか じち</small> るのが難しいこともあります。自治 <small>こうみんかん ちいき す ひと</small> 公民館には、その地域に住んでいる人た</p>

			<p>ちがより良く生活するためのお仕事をして頂いており、行政と自治公民館は地域づくりのパートナーとして、協力しながら地域の仕事をしています。</p>
<p>その他</p>	<p>○わかりやすいように具体的にしたい方がよい。</p>	<p>8</p>	<p>子どもパブリックコメントでいただいた「子ども向け説明資料」については、みなさんが理解しやすいように、できるだけ難しい言葉や専門用語を使わず、表現方法を工夫し、短い文書にまとめています。そのため、抽象的で分かりにくい部分があったと思います。</p> <p>「都市子ども計画」本体には、令和7年度～令和11年度の5年間で本市が行う事業等について、くわしく掲載しています。今後、みなさんに分かりやすく御紹介できる機会なども考えていきたいと思っています。</p>